

健康 環境 リサイクル アメニティ

## KKR+Aのテーマのもとに

わたしたち住江織物グループは、「K・・・健康」、「K・・・環境」、「R・・・リサイクル」そして「A・・・アメニティ:快適」を基本理念として、室内環境改善やリサイクル材の活用、環境負荷の低減など、環境保全への取り組みを続けています。

### 環境基本理念

近年、地球環境の悪化が急速に進んでいます。その地球にくらしている私たち人類が地球環境の維持と改善に努め、美しい自然を子孫に譲り渡すことは人類共通の使命であります。住江織物はこのことを認識し、従業員全員が環境保全に積極的に取り組むことによって、住みよい豊かな社会をつくります。

### 住江織物グループ環境対策宣言

1998年に発表した環境対策宣言を見直し、2009年に新たな7つの宣言として改訂し具体的に着実に推進しています。

- 宣言1** 室内環境を改善し、快適な空間を実現します。  
タバコ臭やペット臭、生活悪臭に加え、シックハウスの原因となるホルムアルデヒドなどを吸着・分解して消臭する「トリプルフレッシュ加工」のカーペット、カーテン、壁紙、車両内装品や、アレルゲンの働きを抑制する「アレルブロック加工」、お肌に優しい「スキンケア加工」などにより、安心・快適な空間を実現します。
- 宣言2** 循環型社会に対応し、リサイクル材を積極的に採用します。  
ペットボトルから製造されたポリエステル系の「スミロン」、使用済みタイルカーペットを回収し、リサイクルする「タイルカーペットリサイクルシステム」、リサイクル性に優れた鉄道車両用シートクッション材「スミキューブ」、ビールケースなどから再生されたPP樹脂の簡易二重床「SEライトN」などリサイクル材を積極的に活用して環境保全と資源の有効利用に取り組んでいます。
- 宣言3** CO<sub>2</sub>削減と環境負荷を低減させる製品を提供します。  
地球温暖化防止に向けた低炭素社会実現の一端を担うため、原料、製造、輸送、使用、廃棄といった製品のライフサイクル全体にわたって、環境負荷を総合的かつ定量的に評価するライフサイクルアセスメント(LCA)手法に基づく「ローカーボン製品」を開発・提供いたします。
- 宣言4** 安心・安全な素材を使用し、健康と環境に配慮します。  
法的な規制はもちろん、シックハウスの原因となるVOCや廃棄時に問題となる重金属等を含まない安心・安全な製品提供とともに、ウール・麻・綿などの天然素材も積極的に活用します。また、火災時に有毒ガスの発生が少ないオレフィン系床材などで、人に優しい製品づくりに努めます。
- 宣言5** 製造から製品に至るまで、省資源・省エネルギーに取り組めます。  
製造時における材料、副資材、水、エネルギーのロス低減による資源の有効活用を図るとともに、省エネ設備の更新推進、品質向上、製品の軽量化、容器・梱包の簡素化、減量化を図り、輸送効率、使用効率、廃棄効率を追求し、省資源・省エネルギー化を推進いたします。
- 宣言6** 最新情報に基づき、環境負荷物質の適正管理を推進します。  
製品に使用する材料に対して、特定の化学物質の含有に関する制限が、内外ともに強化されております。この対応として、対象製品すべてにわたって確認し、サプライ・チェーン・マネジメント(SCM)の考え方に基いた使用材料の適正管理を図るとともに、最新の安全性に関する情報入手・把握に努めます。
- 宣言7** エコを意識した製品を提案・提供します。  
製品の見た目や機能面での環境配慮だけでなく、製造の過程で用いる資源やエネルギーなどを最小化し、易リサイクル化、製品の長寿命化、廃棄処理の最適化を見据えた「エコデザイン思想」に基づく、製品およびシステムの提案・提供に努めます。

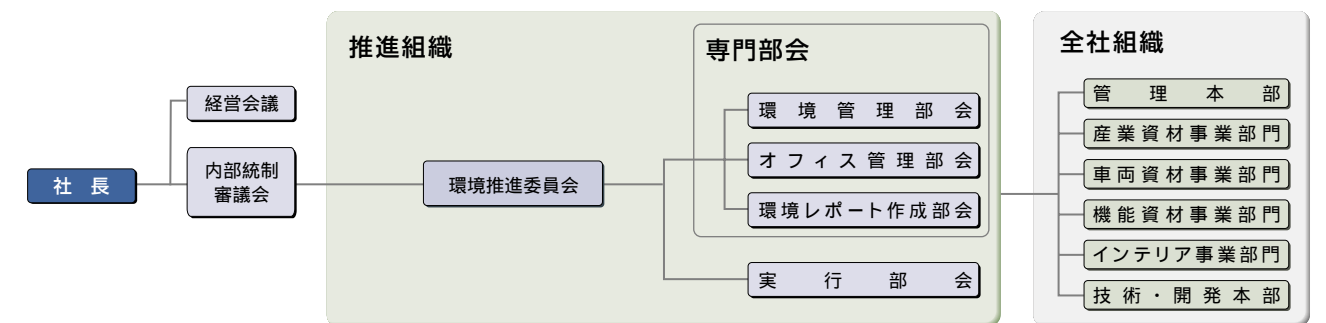
### 行動指針

環境保全を実施するにあたって

- 1 私たちは、企業活動全般にわたって環境を汚染することのないように配慮しつつ、積極的に省エネ・省資源・リサイクルを推進します。
- 2 私たちは、環境に配慮した技術と商品を開発することにより、生産から販売、廃棄に至るまで商品ライフサイクルを通して環境保全に努めます。
  - ① 省エネ、省資源技術の開発
  - ② リサイクル技術・リサイクルシステムの開発
  - ③ 環境負荷がより少なく、安全性がより高い原材料への置き換え技術及び商品の開発
  - ④ 室内環境を改善し、健康及び快適性に貢献する商品の開発
- 3 私たちは、地域社会とのコミュニケーションを通じて社会との共生をはかり、全従業員が小さなことでもできることから行動を起こします。
- 4 私たちは、環境保全推進のため社内体制の整備と、全従業員の環境意識の高揚に努めます。

### 環境推進体制

推進組織において立案・決定された施策は全社組織を通じて実行されます。



### 環境関連法規制の遵守状況

当社の子会社である住江奈良株式会社において、2010年1月25日に塩ビ可塑剤のフタル酸ビス(2-エチルヘキシル) (以下DOP) が地表層から道路の側溝壁面を通じて水路に浸み出るという事故が発生しました。工場側法面に敷設した3カ所の井戸からの回収、処理作業を実施し、2010年11月と2011年1月末にはDOP濃度は環境指針値未満となり、奈良県などの関係機関へ報告し、本件について完了の承認をいただきました。近隣住民および関係機関の皆様には、大変なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

### 環境マネジメントシステムの導入状況

2000年度に生産事業所である奈良事業所がグループとして初めてISO14001認証を取得し、その後順次導入して現在国内の6生産事業所において、ISO14001:2004の認証を取得しています。

	奈良事業所	大阪事業所	滋賀事業所	帝人テクロス(株)	尾張整染(株)本社・石川工場
登録	2000年5月	2001年8月	2002年8月	2001年4月	2003年3月
更新	第3回済(2009年5月)	第3回済(2010年8月)	第3回済(2011年8月)	第3回済(2010年4月)	第3回済(2011年7月)
審査登録機関	日本規格協会	日本規格協会	日本規格協会	日本品質保証機構	日本品質保証機構
登録番号	JSAE 235	JSAE 410	JSAE 565	JQA-EM 1519	JQA-EM 3114

# 環境マネジメント

## 環境との関わり

当社グループの事業と環境との関わりは、開発設計から資材調達、生産、販売、物流から使用、廃棄、リサイクルまでライフサイクル全般にわたっています。  
したがって、製品のライフサイクル全体を視野に入れ、事業活動が環境に与える影響の把握に努め、環境負荷低減の取り組みを進めています。



## 第2次中期行動目標

2006年度から5か年の第2次中期行動目標を設定し活動してきましたが、2010年度で終了しました。  
生産量の減少などによる原単位の悪化などで、コピー用紙購入量・産業廃棄物発生量・PRTR取扱量などの原単位が目標を達成できませんでしたが、CO<sub>2</sub>排出量・水使用量・再生資源利用率・廃棄物の再資源化率などの主要な環境データの改善が図れました。

## 2010年度の実績

◎ 中期行動目標を達成 ○ 達成 × 未達成 △ 一部達成

第2次中期行動目標 (2006年～2010年)					2010年度の目標と実績					
課 題	取り組み項目	当初の目標値	見直し後の目標値	基準年度	目 標	実 績	評価	取り組み内容	参照ページ	
事業活動における環境負荷の低減	地球温暖化抑制	CO <sub>2</sub> 排出量削減 (省エネルギー)	5%削減 (原単位)	21%削減 (原単位)	2004年	CO <sub>2</sub> 排出量を2004年度対比21%削減 (原単位)	22.2%減	◎	生産原単位の向上、生産状況に合わせたユーティリティ設備の稼働の最適化	7
			増減ゼロ (総量)			増減ゼロ (総量)	12,697t減	◎	省エネ対策の徹底 プロアアのインバータ制御への更新	
	省資源	紙使用量の削減	5%削減 (原単位)		2004年	コピー用紙購入量を2004年度対比5%削減 (原単位)	33.8%増	×	生産効率の向上	8
		水使用量の削減	5%削減 (原単位)	23%削減 (原単位)		水使用量を2004年度対比23%削減 (原単位)	41.8%減	◎	大量使用商品から省資源型商品への切り替え	
	廃棄物の3R	再生資源利用率向上	10%向上		2004年	再生資源利用率を2004年度対比10%向上	18.5%増	◎	再生原材料を使用した製品の生産量拡大	8
		産業廃棄物の発生量削減	5%削減 (原単位)	15%削減 (原単位)		産業廃棄物発生量を2004年度対比15%削減 (原単位)	8.5%減	×	ムダ・ロス削減の徹底	
		再資源化率向上	65%以上			67.9%	◎	タイヤカーベットのリサイクルシステムによる再資源量増加		
	汚染の予防	埋立処分率の低減	10%以下		—	10.3%	△		9	
		大気汚染 NOx	5%削減 (原単位)	24%削減 (原単位)	2004年	NOxを2004年度対比24%削減 (原単位)	23.5%減	△		省エネ対策の徹底 電気フォークリフトへの更新と台数削減
	グリーン購入率・グリーン調達率向上	PRTR法指定化学物質の取扱量削減	生産事業所ごとの年度目標に落とし込む		2004年	取扱量原単位を2004年度対比16%削減	2.3%増	×	代替物質の検討	9
事務用品購入率向上		100%達成		—	事務用品購入率100%	96.6%	△	新規グリーン購入品の社内紹介の促進	—	
ライフサイクル全般にわたる環境負荷の低減	低公害車導入率向上	100%達成			—	低公害車導入率を2004年度対比56.5%向上	53.1%増	×	業務用車両を随時低公害車に入れ替え	—
	グリーン調達率向上	100%達成		グリーン調達ガイドラインの推進		ガイドラインの推進	◎	グリーン調達調査票・含有禁止化学物質不使用保証書の回収とサプライヤーの評価	9	
環境マネジメントシステム導入の推進	環境に配慮した技術の開発促進	5件		—	環境に配慮した技術を1件以上開発	2件開発	◎	[ECOS (エコス) 循環型リサイクルタイヤカーベット]、難燃性樹脂ハニカム構造体「スミハニカム」	19、20	
	環境に配慮した商品の開発促進	15件			環境に配慮した商品を3件以上開発	4件開発	◎	遮熱ルーフィング、空気清浄機用ハニカム消臭フィルター エアーフアブリック、パッキングレスファブリック (軽量シート表皮材)	31-32 30	
環境マネジメントシステム導入の推進	グループ主要会社でISO14001の認証取得	1社以上		—	尾張整染株式会社の石川工場への認証範囲拡大 (2010年度)	1事業所	◎	認証範囲の拡大、認証取得済みグループ会社の2社増加 (2010年度)	4	
環境コミュニケーションの充実	社会貢献の促進	—		—	地域住民との共生を図る (研修・見学の受け入れ)	93名受け入れ	○	小学生の工場見学、中学生の体験学習、大学生のインターンシップなど	11-14	
						事業所周辺の美化活動の推進	14回実施	○		事業所周辺の緑化・美化活動
					環境NPO支援	支援活動実施	○	大阪みどりのトラスト協会、シックハウスを考える会、日本健康住宅協会		